

—健康は自然との共生で—

The System for Enlightenment of Natural Resources

2002年9月

NPO 法人

天然資源開発機構ニュース

創刊号

発刊の言葉

從_レ隗_カ始_メ (隗_カより始めよ)

シドニー大学薬学部名誉教授

NPO法人天然資源開発機構理事長

医学博士 山原條二

中国の戦国時代、燕の昭王が側近の郭隗_{かくがい}に国を盛にするため賢者を多く集めてやろうと相談したところ、自分のような身近な者の活用が大切だとの提言から「隗_カより始めよ」の言葉が出たとされます。

さて、現代日本は世界一の長寿国となりました。住環境の整備や西洋医学による医療に依拠するところが大きいことは、誰も否定できないところです。しかし、難病の増加、医療費の膨大な額をどうするかなど大きな問題も抱えています。分子・遺伝子レベルでの治療や臓器移植に見られる技術の変化は刮目_{かつもく}に値しますが、ヒト特有の「気」の病が複雑な社会になるほど多発してきています。

東洋医学は体の気・血・水の巡りを正常にする療法です。世界の各民族には、それぞれ特有の伝承医学があります。難病解決の手段を、それらの活用が与えてくれるかも知れません。「ボウフラ」を農薬で殺す西洋医学的発想と、どうしてボウフラがいるのか、水たまりの水を抜けばボウフラは住まない、とする東洋医学的発想の差も大切です。

二千数百年前に中国から日本に持ち込まれていたであろう種々の中国の文化は、明治維新まで日本に同化しました。医療の主流であった漢方療法をはじめ、何千年も昔から使われてきている天然資源を、最新の科学情報から事実、すなわちその有用性や有効性、安全性などを正確に理解し行動することが大切です。

経済効率至上の社会を再考したり、とくにここ二～三十年は、大きく生活習慣の変化が見られており、それに伴う生活習慣病の多発に対しても天然物の活用を考えていく必要があります。インド医学での伝承薬物であるサラシア属生薬を科学的に研究し、糖尿病や肥満に対する有効性は、三年前に本紙でも紹介された通りで、実効を得、新しい健康茶として今日に至っています。

血管の繊維化の進行は将来重篤な結末を招くことは臨床の間では知られています。これを家庭で手軽に毎日飲用できる茶剤などで、いつまでも若々しい血管に保ってくれる天然物があるはずだと、目下注力中の研究テーマの一つとしています。

筆者自身以前から大津坂本・西教寺近くの自宅試験圃場で、ネコや害虫の忌避剤を天然物ばかりで仕上げることや生ゴミの有機肥料化など、殺虫よりも忌避、自然との共生を試行・実習しています。そうした活動の中で、漢方療法、薬膳、氣功、香道、草木染、薬草観察・栽培などを多くの人とともに考え

ていこう、と思いました。また、身近にあった「貴船菊」や「叡山スミレ」などは、その地に絶えて久しいですが、癒しの薬草里山や、その中にセミナーハウス建設の構想も含め、身を持って学び、自然と共生する事の大切さを知ることが健やかな生活に不可欠と考え、先ごろ、NPO法人天然資源開発機構を設立しました。自然を従属させるより共生を、という考え方です。

現実を知ってもらうため、九月二十日には市民公開講座として食品添加物や石けんの解説セミナーをウイングス京都(中京区東洞院通六角下ル)で、十月二十日には貴船方面での身近な薬草観察会を予定しています。

できることからやろう「隗より始めよ」。こういっておきながら大臣を辞職した人もいましたが、私たちの団体は、その精神を守りたい。政治や行政だけに依存せず、多くの人とともに自然を知り、活用することで健康を維持・回復したり、新しい仕事を創成できることを提案する団体でありたいです。(京都新聞・平成14年8月27日朝刊より抜粋)

対外活動報告

○日本テレビ系昼の人気番組、みのものんたの“おもしろテレビ”で甘茶を紹介

7月29日(月)の放送で山原理事長が“甘茶”の効能効果の一部を紹介され、多くの方からの反響がありました。

○野外研修 花背方面“身近な薬草観察”

8月4日(日)京都・鞍馬山の奥、花背(市内からバスで約2時間)へ身近な薬草観察をしました。あいにくの荒天で思うように観察はできませんでしたが、本法人会員でもあり、林業をされている開原さんの花背にある築100余年の旧家を訪問し、自然との共生について開原さんに講演いただき、自然に囲まれ有意義な時間を過ごすことができました。



(写真提供 会員の杉山眞美さん)

○京都新聞の取材



8月27日(火)本法人の設立目的・方向などについて京都新聞社より取材を受け大きく掲載されました。多方面の方々から参加頂き、西洋医学にない健康維持の道もあることを知り、実行していただくことを大きなテーマと考えています。

寄付金

以下の方々からいただきました。

有用に活用させていただきます。有難うございました。

日野 洋子 様 (松山市)

山澤 宣 様 (茨木市)

会員便り

お祝い・励ましのお便りをいただいています。一部紹介いたします。

○去る 8 月 4 日は雨の中、大変楽しいお勉強と北山花背のご案内を有難うございました。NPO 法人として益々発展があることを心から念じています。

(草刈美由紀様)

○京都へ旅行し、先生から薬草などにつき色々とお教え頂くことを楽しみにしております。お蔭様で定年後の楽しみができました。(田能村昌久様)

○このたびは NPO 法人開設おめでとうございます。一層の活躍をお祈り申し上げます。(北川恵美子様)

新 刊

チョコロギの効用 9 月 10 日発刊

青酸カリを少量投与した脳梗塞様モデルのネズミにチョコロギを服用させておくとなかなか死にません。チョコロギはこんな不思議な作用のある薬草です。

整腸作用や緩下・催乳(授乳時のお母さん用)作用もあるあまり知られていないチョコロギについて詳しく書かれた解説書です。

9 月・10 月の研修案内

9 月セミナー：市民公開講座

テーマ：正しい情報を得よう

①毎日食べている食物に含まれている

“食品添加物”を知る(高田勝明)

②石けんについて (伊勢武夫)

日 時：9 月 20 日(金)午後 2 時～4 時

場 所：京都市女性総合センター

ウイングス京都

京都市中京区東洞院通六角下ル

市営地下鉄烏丸御池駅・四条駅

または阪急烏丸駅下車徒歩 5 分

参加費：1,000 円(会員 500 円)

定 員：50 名

10 月セミナー：野外研修

テーマ：身近な薬草観察と食用廃油からの石けん作り

①貴船方面薬草観察

薬草研究 40 年の山原先生に案内していただきます。

②河原にて食用廃油から石けんを作ります。

日 時：10 月 20 日(日)午前 10 時～4 時頃

雨天の場合は 10 月 27 日(日)に順延

場 所：貴船方面

京福電鉄貴船駅前 10 時集合

参加費：2,000 円(会員 1,500 円)

定 員：50 名

※参考書として京都新聞社刊 “京都の薬草百科” をご持参ください。参加費には昼食代 (1,000 円)を含んでいます。不要の方はお申し出ください。

両セミナー共、当日不参加の場合、既納の参加費は理由の如何に関らず返却できません。

漢方相談

漢方薬について、薬草、薬木の苗、薬草栽培地の見学、薬草の商品化、薬事薬効研究、薬草の購入など毎週火曜日に無料相談日を設けています。事務局にてご予約ください。

事務局にて以下の商品を用意しております。ご利用ください。

- ・ “京都の薬草百科” 山原條二著 京都新聞社刊
- ・ 甘茶について7月29日テレビ放映ビデオ
- ・ 甘茶の苗木
- ・ 花背についての豆知識
- ・ 解説書 甘茶（ノンカロリーの甘味剤で抗酸化作用が強い）
金時ショウガ（体の錆止め、冷症改善）
紅景天（アルコール排泄や腎機能の賦活）
サラシノール茶（糖尿病・肥満に効きます）
藻塩（高血圧になりにくい海藻ミネラル塩です）
東洋医学入門（一般的な東洋医学の入門書）
神農本草経を巡りて（最古の薬草解説書）
チョコロギの効用（脳梗塞のモデルに効く不思議な薬草）

編集後記

朝晩やっと涼しくなり野に山にと出かけるのにいい季節も近づいてきました。

さて、NPO法人天然資源開発機構ニュースを発行することになりましたが、初めてのことであり悪戦苦闘しました。不備なところが多いと思いますがお許しください。

どんなことでもよろしいですから、皆様のご意見をお聞かせください。お待ちしております。

また、天然資源開発機構ニュースに関心のあるかた、編集を手伝っていただけるかたは事務局まで申し出てください。まだまだ暑い日が続きます皆様には健康に注意して益々のご活躍をお祈りしています。

研修や入会のお申込、その他お問い合わせは下記事務局へお願いします。

発行所：NPO法人天然資源開発機構

発行人：山原條二

編集責任者：伊勢武夫

事務局：〒602-8026

京都市上京区新町通樺木町上ル春帯町 344-2 折坂ビル

電話：075-256-0811 FAX：075-257-3591

E-mail：pharmafood3581@rio.odn.ne.jp